



現役百年あっぱれ特集



今回は、第100号発行記念にちなんで、町内にお住まいの「現役100歳」の皆さんをご紹介します。

手先の仕事好きなんです

よくやりますよ

北下町・安部川マリさん



北下町に住む安部川マリさんは100歳9ヶ月。生まれは横浜市白根、医者者の家に8人兄弟の次女として育った。昭和3年、育った環境とは全く違う大磯の網元へ嫁いできた。大勢の漁師を相手にきりもりする中、3人の息子を育て、苦労は大変なものだった。

今でも自分の歯です、入れ歯は使ったことがない。

最近はずすがに食事を軟らかくして食べていますが、つい最近までは若い人と同じ食事を摂っていました。

長生きの秘訣は、三度の食事はきちんと決められた時間で摂ること。間食はしませんがモットー。間食をし始めたのはほんのここ数ヶ月、ベット上での生活になってからビスケットなどを少し嗜む程度。

目は見えないものの指先の感覚のみで99歳まで編み物や細工作りなどを趣味でやってきました。「手先の仕事好きです、よくやりますよ。」とご本人。部屋の中には、沢山の細工品が飾られています。編み目の揃った息子へのセーターは、たばこをしまえるようにと

両側にポケットが丁寧に編みこまれています。「子どもの頃は、よその家はセーターを買ってもらえていいなと思ったもの、しかし思えば何よりの贅沢だったんだなと今は感じています」と三男さん。

安部川マリさんは、昨年11月に風邪をこじらせ、今は家族の手厚い介護や、また訪問看護師さんに週2回リハビリなどの支援を受けながら、ベットの中で毎日を過ごしている。長年の手先仕事の趣味のせい、タオルやシーツなどを手探りで触り、自然と指先を動かしてしまふ。寝たきりの今でも、家族が「これなんの魚の煮物かわかる？」に、「金目だよ」と。



安部川マリさん、まだまだ現役です！

長生きの秘訣は

「何事にもよくよくよせず…」

西小磯・鈴木よしゑさん

西小磯に10年住む鈴木よしゑさんは現在101歳。生まれは静岡県。結婚されてからは横浜でご夫婦一緒にご商売をされながら、お子さん2人を育てられました。ま



た英語が得意で、それがお仕事の上で大変有効だったそうです。

25年くらい前にご主人が亡くなってからは、現在の大磯の家で一人で生活されていて、昨年、鈴木さんを心配した息子さんご夫婦が同居されるまで100歳まで1人暮らしでした。

100歳での1人暮らしに関わらず、ホームヘルパーの支援は掃除くらいで、調理や身の回りのことはすべてご自身で行っていました。ちなみに歯はほとんどご自分の歯です。

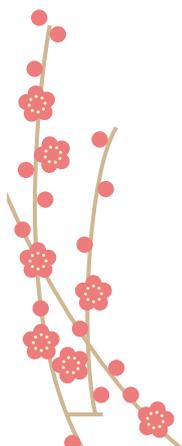
また、長年趣味で鎌倉彫りが続けていて、100歳過ぎても作品を作り続けています。

作品は手鏡、お盆、その他小物と沢山あります。最近でも作品展に出品されています。

そんなまだまだお元気の鈴木よしゑさんに「長生きの秘訣はなんですか？」と問いかけたお返事は「何事にもよくよくよせず、毎日明るく楽しく暮らすこと」とのこと。

あまり長生きを意識しなかったようです。今まで大きな病気をされたことがなく、

現在でも治療中の病気はない、とのこと。現役102歳も目前です。



祝30周年 グループボランティア連絡会



グループボランティア連絡会は、30周年を迎えました。
30周年記念式典は、平成22年3月5日（金）大磯プリンスホテルで和やかな雰囲気の中、盛大に開催されました。

グループボランティア連絡会の基盤となったのは、ボランティアさざんかです。その名は、さざんかの花の優しさ、寒さにめげない強さから命名され、その花言葉のように、謙虚に活動を続けてきました。

小さな善意と思いやりによって咲き始めたボランティア活動は、地域を支える各地区区長や民生委員、地域福祉推進委員、福祉施設や福祉団体、そして住民の皆さまのご協力によって、今では14グループ300名の多様な活動へと広がり、長い歳月を経て、グループボランティア連絡会の結成へと開花することができました。



ご挨拶

大磯町グループボランティア連絡会
会長 加藤 澄江

この会は昭和54年に民生委員の呼びかけによるボランティアで始まり、翌年に「さざんか」と命名、平成4年に「大磯町グループボランティア連絡会」と改称して活動してきました。

創立30周年を記念する式典を開催する事ができましたのは、偏に基盤を作ってくられた諸先輩方のご苦勞と、歴代会長の方々のご尽力、そしてボランティア連絡会の運営に対する各団体・会員の皆様方の温かいご理解とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

ボランティア活動に参加することにより、思いがけない出会い・発見・感動が待っています。自分のささやかな行動が、誰かの役に立ち、地域社会や福祉へ理解を深めながら町づくりに繋がっていくのです。

これからも、多くの先輩達が築いてくれたことを受け継ぎ、更に発展するよう力を合せていきたいと思えます。

笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、会員相互の「和」と「輪」を大切にして、皆様方と一緒に楽しく元気に活動していきたいと思っています。

アイリッシュユーハーブ演奏の
永山友美子さん



三遊亭遊吉師匠による落語

◆ 永年功労者 ◆

(敬称略・順不同)

氏名	功績
宮代 竹次郎	昭和54年民生委員からボランティアを立ちあげ、地域に「ボランティアさざんか」の種をまくきっかけとなる。現在は、「ワーカーマン」に所属。
都築 誠一	
竹内 松江	グループボランティア連絡会の歴代会長を務められた。ボランティア連絡会に貢献された。
岩田 澄子	グループボランティア連絡会の歴代会長を務められ、現在もボランティア連絡会に貢献されています。現在「大磯町食生活改善推進団体」に所属。
児玉 佐子	グループボランティア連絡会の歴代会長を務められ、現在もボランティア連絡会に貢献されています。現在「身障者介助ボランティア」に所属。



平成22年度 事業計画・予算

大磯町社協は、福祉活動を住民の皆様と考え、実施していく民間福祉団体です。今年度も地域の皆様のご支援をお願いします。

新規事業

大磯町放課後児童健全育成事業（町からの受託事業）

平成22年度から、大磯学童保育事業を大磯町より受託する。学童保育事業を通じて将来を担う児童の健全育成を図る。

重点事業

- 『大磯町地域福祉活動計画～一歩踏みだそう！かおの見える町づくり～』をもとに、関係機関のネットワークの充実を図る。
- 大磯町立福祉センターは、平成22年度より大磯町の方針で、センターの利用が有料化され町民に一段と開放されることとなる。
センターを町民の生活相談の拠点、地域福祉活動の拠点、生涯学習活動の拠点としていく。
- 失業者や低所得世帯の生活費を支援するため、生活福祉資金(総合支援資金)や、社協独自の小口貸付を通じて当該世帯の自立安定を支援する。

地域福祉推進事業

- 心配ごと相談室の開催
- 高齢者を介護している介護者のつどいの開催
- 高齢者の方のための「ふれあいサロン」の運営
- 地域福祉推進委員会の育成
- 高齢者対象の配食サービスの実施
- 日常生活自立支援事業の実施
- 高齢者対象のミニデイサービスの実施

福祉センター管理運営事業

- 町立福祉センターさざれ石の管理運営

企画広報事業

- 広報紙の発行

ホームページの運営

- 大磯町社会福祉大会の開催
- 福祉作文コンクールの実施
- 地域福祉活動計画の推進

ボランティア活動事業

- ボランティア活動の相談、活動の支援
- 福祉体験学習、手話講座の開催など

介護保険事業

- 高齢者や障害者の方のための訪問介護事業の実施
- 高齢者の方のための通所介護事業の実施

共同募金

- 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金の配分

町からの受託事業

- 高齢者の方のための軽度生活援助サービスの実施
- 大磯町地域包括支援センターの運営
- 放課後児童健全育成事業の運営

資金貸付事業

- 生活福祉資金、緊急小口貸付金の貸付

平成22年度予算

収入の部		単位：万円
収入科目	予算額	
会費収入	430	
寄付金収入	100	
補助金収入	1,619	
助成金収入	7	
受託金収入	3,344	
事業収入	1,147	
貸付事業等収入	47	
共同募金配分金収入	514	
介護保険収入	8,025	
利用料収入	180	
雑収入他	3	
受取利息配当金収入	84	
経理区分間繰入金収入	579	
前期末支払資金残高	675	
収入合計	16,754	

支出の部		単位：万円
支出科目	予算額	
法人運営事業	2,383	
企画・広報事業	188	
地域福祉推進事業	925	
共同募金事業	268	
ボランティア活動事業	170	
受託事業	4,562	
居宅介護等事業	3,713	
福祉センター指定管理事業	4,246	
資金貸付事業	115	
基金運営事業	184	
支出合計	16,754	

※福祉センター指定管理事業には通所介護事業を含みます。

4月から新規事業の 大磯学童保育事業が始動しました



一年生の歓迎会
“ようこそ
がくどうへ”
みんな仲間だよ！



さざれ石デイサービス



和紙をあれこれと切り貼りし『大磯の風景』
を描きました

大磯町地域包括支援センター



高齢者の方々が、毎日の生活を安心して
過ごせるように総合的にサポート。日々、
高齢者宅を訪問し相談にのっています。



利用者全員で1カ月かけて
作成した作品をご紹介します

広報紙「しゃきよう大磯町」 第百号の記念発刊にあたり

広報部会長 岡田 忠慶

大磯町社会福祉協議会の広報紙が、今回の発刊で第百号という節目の発行となりました。

一口に第百号と云いますが、継続して発行をし続けるには数知れぬご苦労があったことと推察致します。改めまして今まで広報紙を手がけて来られました諸先輩方に敬意を表したいと存じます。

先般、広報紙第一号を拝読させて頂きました。発行日が昭和五十九年八月であります。歴史を感じると同時に、当時の関係者の皆様の熱い思いも伝わってまいりました。

記事には、社協の法人設立記念式典の内容等の紹介がありました。全体的に、私は社協活動が名実共に本格的スタートをした時期であったという感じを受けました。

その後、発展と充実を加え今日の社協に至りましたが、この記念すべき百号発刊の時に、図らずしも広報部会長を拝命されていた事に対し、あらためて責任の重さを感じております。

今後も携わる方々が代わることはあっても永久に継続して行くであろう広報紙発行に対し、エールを送りご挨拶にかえさせて頂きます。

ご案内 お問い合わせ・お申し込みは「大磯町社会福祉協議会」 ☎0463-61-9390

ボランティア募集

毎週金曜日、高齢者へ昼食弁当の配達をしていただける方を募集します。配達の間は、午前11時から12時30分位の間です。
お気軽にお問い合わせ下さい。



福祉センターのご利用を

町立福祉センターさざれ石が、6月から町民の方々のサークル活動等にもご利用できることになりました。

■レクリエーション室

(80名収容)

利用料 1時間 500円

■第1相談室及び第2相談室

(各部屋4名収容)

各部屋利用料

1時間 200円

条件により利用料の減免もあります。詳細は、大磯町社協まで。

心配ごと相談室のご案内

とき 毎月第3火曜日

時間 午後1時から3時30分まで

場所 町立福祉センター2階相談室

今年度から予約制となりました。ご相談ご希望の方は、事前にお電話をお願いします。

ケアセンターさざれ石 協力員募集

(若干名)

場所：町立福祉センターさざれ石
日時：週1日（月曜日から金曜日）
①午前9時から午後4時(変更有)
②午前9時から午後1時(変更有)
1時間500円

協力内容：
デイサービスご利用者のお手伝い
厨房担当：昼食作り、おやつ作り等

法人賛助会員のご紹介

～追加報告～

3月15日 山口米店 1口

ありがとう

2月1日から4月30日までに次の方々から大磯町社協にご寄付をいただきました。福祉活動のために大切にに使わせていただきます。(敬称略)

【寄付金】

地福寺 西湘地域労働者福祉協議会

福祉センター募金箱 神奈川県自転車商協

同組合 ふれあいステップ

匿名 2件

合計 7件 総額 212,516円

【寄付物品】

阿部川勝義(着物)

匿名(毛糸のマフラー)

編集後記

記念すべき第100号を発行することができました。第100号の発行は、永い歳月を経て、福祉に携わる様々な方のご協力によりここまで来る事ができました。ボランティア一人一人の地道な活動や、地域を支える民生委員や区長、福祉団体や住民の皆様へ深く感謝いたします。

また、福祉活動における様々なメッセージをお伝えできるよう、より一層楽しめる「しゃきよう大磯町」を発行していきます。

皆様からのご意見・ご感想を社協事務局までお寄せ下さい。